

マスカレード

サイモン・スターリング 仮面劇のためのプロジェクト (ヒロシマ)

2011年1月22日(土)～4月10日(日)

ターナー賞受賞の注目アーティスト、日本初個展

物事の裏側に秘められた歴史やエピソードを丹念なりサーチから見つけ出し、異なる文化との邂逅や衝突、近代化のもたらす伝統との摩擦、移動が引き起こした様々な変化などを浮き彫りにしながら、時間の経過やプロセスを内在した作品を生み出してきたイギリス出身のアーティスト、サイモン・スターリング。学者のようなリサーチと、冒険家のような実践、豊かなイメージネーションを統合し、美術表現の新しい地平を切り開いています。

本展はスターリングの活動を本格的に紹介するアジアで初めての個展であり、代表作に加え、重要な当館の収蔵品であるヘンリー・ムーア作品を軸に制作を進めた広島に関する新作を紹介します。

物事の変遷をたどる、冒険家的アーティストの挑戦。

スターリングの制作は、途方もないプロセスを要する実践と挑戦の上に成り立ち、時には船や自転車を自ら操っての旅に身を投じ、制作過程と視覚表現を融合していきます。

本展では、18世紀に園芸用としてスコットランドに持ち込まれ広まった外来種のシャクナゲが、在来の生態系を脅かすとして近年は雑草と見なされ、排除される時代の変化を受け、シャクナゲ専用の島を作った《雑草の島(プロトタイプ)》(2003)などこれまでの代表作を展示・紹介する予定です。

このように土地に深い由来のある事象を、グローバル化の流れの中で変わりゆく社会状況からとらえ直し、様々な人、物、時代、出来事と関連付けていくスターリングは、近年、イギリス人の先達であるヘンリー・ムーア(1898-1986)の調査研究に取り組んでいます。

グローバル・アーティストの第一世代であり、「戦争と平和のアーティスト」といわれてきたムーアは、数々のモニュメントを手がけ、その作品は世界で数多くの美術館に収蔵されています。広島市現代美術館でも、最晩年のムーアとのやり取りの末1989年の開館より彼の記念碑的作品を収蔵しています。スターリングはムーアと広島を結ぶ深い関連から冷戦と美術についてリサーチを進め、その複雑な関係を歴史のアレゴリーであり日本伝統の舞台表現である能の登場人物に見立てて面を制作し、新たなインスタレーション、映像作品として発表します。

本展は、スターリングのリサーチを核に、現代において美術を通じ広島と世界を繋ぐ様々な関係性をひも解きます。



《オートザイロパイロサイクロボロス》2006
Courtesy of the artist and Casey Kaplan, New York. Photo: Ruth Clark



《雑草の島(プロトタイプ)》2003
Courtesy of the artist and The ModernInstitute/ Toby Webster Ltd., Glasgow
Photo: Jeremy Hardman- Jones



マスカレード
《仮面劇のためのプロジェクト(ヒロシマ)》2010より、
制作風景(参考写真)
Photo: Simon Starling

作家略歴

サイモン・スターリング Simon Starling

1967年イギリス・エプソム生まれ、現在デンマーク・コペンハーゲン在住。
グラスゴー・スクール・オブ・アートを卒業し、90年代半ばより写真やインスタレーション作品を制作。2003年ヴェニス・ビエンナーレ（イタリア）、2004年グッゲンハイム美術館ヒューゴ・ボス賞最終選考リスト（アメリカ）、2006年光州ビエンナーレ（韓国）をはじめとした展覧会に参加するなど国際的に活躍する。カムデン・アートセンター（イギリス）で開催の「Never The Same River」展（2010年12月～2011年2月）では、キュレーションを手がける。

2005年イギリスで最も活躍する現代美術家に贈られるターナー賞を受賞。

- 2010 'Project for a Masquerade (Hiroshima): The Mirror Room',
The Modern Institute/Toby Webster Ltd, Glasgow, UK
- 2009 'Red White Blue', Casey Kaplan, New York, USA
- 2008 'Cuttings (Supplement)', The Power Plant, Toronto, Canada
- 2007 'Nachbau', Museum Folkwang, Essen, Germany
- 2006 'Autoxylopyrocycloboros', Heidelburger Kunstverein,
Heidelberg, Germany
- 2005 'Cuttings', Museum fur Gegenwartskunst, Basel, Switzerland
- 2004 'Tabernas Desert Run', The Modern Institute/Toby Webster Ltd,
Glasgow, UK
- 2002 'Djungle', DCA, Dundee, Scotland



サイモン・スターリング（ポートレート）



《タバベルナ砂漠走行》2004
Courtesy of the artist and the Modern
Institute/ Toby Webster Ltd., Glasgow
Photo: Simon Starling

開催概要

- | | |
|--------|---|
| 【会期】 | 2011年1月22日（土）～4月10日（日） |
| 【会場】 | 広島市現代美術館 |
| 【開館時間】 | 午前10時～午後5時
※3月26日（土）～4月5日（火）は午後7時まで開館延長
（休館日は除く）
※入場は閉館の30分前まで |
| 【休館日】 | 月曜日（祝休日にあたる場合開館し、翌平日休館） |
| 【観覧料】 | 一般 1,000(800)円、大学生 700(600)円、高校生 500(400)円
※（ ）内は前売りおよび30人以上の団体料金 |
| 【主催】 | 広島市現代美術館、中国新聞社 |
| 【後援】 | 広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送 |



《蔓延作品（貝付きムーア）》
2007/08
Courtesy of the artist and
Casey Kaplan, New York.
Photo: Steve Payne

広島市現代美術館（学芸担当：神谷、齋藤 広報担当：後藤、鈴木）
〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1
TEL/ 082-264-1121（掲載用）・082-264-1146（問い合わせ用・学芸直通）
FAX/ 082-264-1198
E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp

アーティスト・トークからキッズ・ワークショップまで 展覧会をもっと楽しむための関連イベント

サイモン・スターリング アーティスト・トーク

作家自身が、これまでの作品や新作について語ります。

1月22日(土) 14:00～

※要展覧会チケット、事前申し込み不要、日本語通訳あり

新作関連レクチャー：創作面の可能性

スターリングの新作に登場する面について、その面の制作者である能面打・見市(みいち) 泰男氏が仮面の歴史と合わせて語ります。

1月23日(日) 14:00～15:30

※参加無料、事前申し込み不要

広島市立大学協同企画「知のトライアスロン」

広島市立大学准教授であり、自身も彫刻家として活動するチャールズ・ウォーゼン氏が、サイモン・スターリングとその作品について語ります。

3月5日(土) 14:00～15:30

※参加無料、事前申し込み不要

学芸員によるギャラリー・トーク

一步踏み込んだ展覧会の楽しみ方をご紹介します！

1月30日(日)、3月21日(月・祝) 14:00～15:00

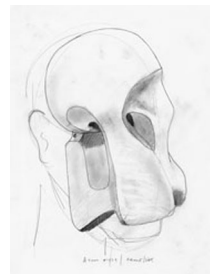
※要展覧会チケット、事前申し込み不要

展示室でデッサン・ワークショップ

象の骨格標本とそれを象ったといわれるヘンリー・ムーア彫刻の木炭デッサンをします。初心者の方も気軽にご参加ください。

2月12日(土) 14:00～16:00

※参加費 500円+展覧会チケット、要申込、詳細はHPをご覧ください。



Drawing: Simon Starling

キッズ・ワークショップ「ねんどで作ろうほねほね彫刻」

安佐動物公園が所蔵する、本物の動物の骨格標本をお手本に、ねんどで形をまねてみよう。できたら今度は、オリジナルのねんど彫刻制作にもチャレンジ！

3月19日(土) 14:00～15:30

※参加費 1000円、要申込、詳細はHPをご覧ください。

キッズ・ワークショップ「大好きな人のお面を作ろう！」

本展の展示作品の中には、いろいろな人物を模した仮面が登場します。みんなもお父さんやお母さん、大好きな友達の顔でお面を作ってみよう！

3月26日(土) 開館時間中参加自由

※参加無料、事前申し込み不要

【同時開催】

● コレクション展 2010-II

「肖像(ポートレート): 黙して語る」

2010年11月20日(土)～2011年2月24日(木)

● オープンプログラム

「きのこアート研究所」展

2010年11月3日(水・祝)～2011年2月24日(木)

【次回開催】

● 特別展

高嶺格—とくよくみえない—

2011年4月23日(土)～7月10日(日)

広島市現代美術館(学芸担当: 神谷、齋藤 広報担当: 後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/ 082-264-1121(掲載用)・082-264-1146(問い合わせ用・学芸直通)

FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp